

国の責任で

予防接種の財源確保を

閉会中委員会が開かれ、私は、厚生環境常任委員会(7日)で**予防接種の財源確保**、エネルギー・危機管理対策特別委員会(8日)で**太陽光発電導入への補助**などについて質問しました。

子宮頸がん、ヒブ、(小児)肺炎球菌の予防ワクチンは現在、県内自治体においては国の交付金を活用し、ほとんど自己負担なしで受けられる任意接種となっており、県は単独で助成し、市町村を支援しています。



交付金は今年度までとされており、定期接種化の動向に、お母さんたちの関心が集まっています。

私が動向を質問したのに対し、朝倉政弘保健薬務課薬務感染症対策主幹は、「定期接種化については国会での法案通過が必要で、来年度当初から実施できるかは、まだ分からない状況」という主旨の答弁をしました。



全国でも山形でもアクション

<上> 原発ゼロへ11日、山形市でも第二公園で集会を開き、市役所までウォーキング。ゆり子県議も参加しました。
<下> 集会開始前に、JR山形駅前で参加を呼びかける石川渉・衆院山形1区予定候補とゆり子県議

現在の交付税措置はどのくらいか、「自治体からは国が財源確保をしつかり果たすべきの声がある」と質しました。

「自己負担なしで予防接種を受けられるようにしてほしい」という声が、特に子どもを持つお母さんたちから寄せられています。



2012年11月18日 -36号

発行 日本共産党県議会議員 渡辺 ゆり子
<連絡先> 県議会共産党執務室 電話 023-630-3241(受付) 自宅：山形市青田2-10-5 電話 023-642-2365

太陽光発電などの導入補助 取り組み強化を

今年度から実施している再生可能エネルギー設備導入事業費補助金の実績と、動向について質問しました。

高橋康則・環境企画課長は、「家庭向け太陽光発電の補助金交付申請状況は474件、木質バイオマス燃焼機器(まきペレットストーブなど)192件、地中熱7件で673件、太陽光発電は2億4000万円の予算に対し、申請は6416万円、年度内は3割程度にとどまる見込み」と答えました。

私は、「国の補助金交付決定は、9月まで466件で全国46位となっている。来年度に向けてしっかりと検証すべきではないか」と発言しました。

高橋課長は、「日照時間や降雨などの不安があり最上地域の申請が少なく、村山地域が7割を占めている」と答えました。

私は、「山形市では、350件の市補助を実施しているが、そのなかで県補助を受けているのは少ない(171件で約半数)。前進させていかなければならない分野であり、市町村と連携した取り組みや、県民の再生可能エネルギー導入への理解と関心を広げる取り組み強化が必要ではないか」と指摘しました。

ゆり子の視点



10日、上山市で開催された県学童保育連絡協議会主催の研究集会に参加しました。

最近、NHKの朝の情報番組でも、現状や課題が紹介されていました。子どもたちに、安全で安心できる放課後の居場所、友達とともに成長できる遊びと学ぶことは、未来をつくることにつながると考えるものだと思います。さらなる充実を!

県議会12月定例会 日程見込み

6日の議会運営委員会では公表され、12月4日から20日までの予定です。請願提出/切は、開会日の12月4日(火)までです。

学童保育研究集会に参加

私はといえば、二十数年前に2人の息子が学童クラブに通っていました。県内利用者は増加傾向で、約1万人が利用している学童保育ですが、関係者が力を合わせて一歩一歩前進させてきたことで、社会的にも認知度が高まってきたと感じています。